

教育広報

かけはし

第6号 平成4年10月9日発行

発行 千代田区教育委員会



童話の世界にひたる(九段幼)

☆“ゆとりのある充実した生活を！”

—動き出した学校週5日制—

☆情報化時代の教育

—映像機器の活用—

☆箱根高原学校の生活

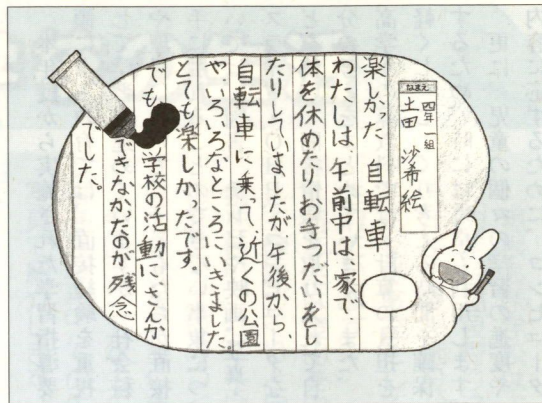
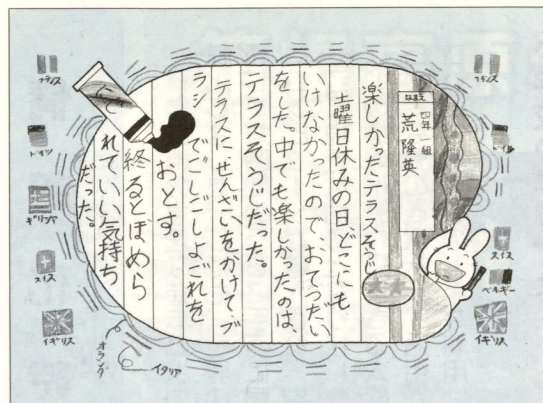
☆練習の成果を競う

—区立小・中学校水泳記録会—

主
な
記
事

子どもたちはお話が大好きです。
先生の読む絵本の世界に溶け込み、
登場人物と一体となって喜び、怒
り、悲しみ、力んでいます。

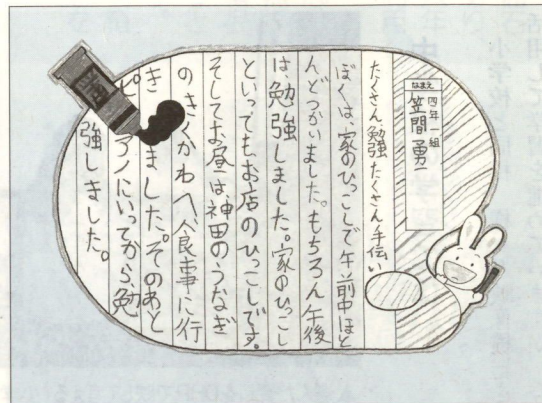
* 教育広報「かけはし」は資源保護の
ために再生紙を使用しています。



▲子ども会合同交かん会に参加(昭和記念公園)



▲校庭開放でお父さんと一緒に(神田小)



▲友達と水泳(ちよだパークサイドプラザ)



私は、第二土曜日が、九月から休みになると聞いた時「つまらないなあ」と思っていました。お父さんが仕事で、どこにも行かれないと思っていたからです。でも最初は、そう思っていたけれど、あとになって、第二土曜日が休みになって、やりたいたことができたのでよかったと思いました。

もうすぐ、けいろうの日なので、おじいちゃんや、おばあちゃんに、はがきをかいいたり、図書館へ行ってのんびり本を読んだり、午後からは毎週かよっているプールへ行ったり、ふだんおけいこでいそがしくて、できないことがいろいろできました。はじめは「ひまでつまらない」と思っていたけれど、いろいろやりたいたことをして、いつもとちがう土曜日をすごせてよかったと思います。これからいろいろなことをして第二土曜日をすごしたいです。

(富士見小学校)

第二土曜日のこと

四年 千葉 真理子

ゆとりのある充実した生活を！

——動き出した学校週5日制——



(富士見小学校)

十二月どうの日のこと
一年 やまもと まゆ

わたしは、とうぶねりまのきたまにすんでいるおばあさんのうちにとまりにいきました。

ごぜんちゅうは、おばあさんのうちのちかくのこうえんであそびました。なわとびをしてあそびました。おひるごはんは、サンドイッチでした。おてつだいをしました。

おひるがおわってから、スーパーへ三じのおやつをかいにいきました。それから、三じのおやつをたべました。

おばあさんが二かいでふとんをほしていました。わたしは、ふとんにさわってみました。ほわほわでした。

九月十二日(土)は、初めての学校週5日制による休業日(休業土曜日)でした。

この日のことが新聞・テレビ等で大きく報道されたために、世間の目がこの休業土曜日だけに向けられた感じがします。

「急速に変化する社会に主体的に対応し、心豊かにたくましく生き抜く人間」を育成するために、家庭・地域がどう取り組むか、どうしたら子どもたちが自分の時間を有効に使うようになるかが重要です。従って、一週間の日常生活全体を見通した上で、休業土曜日をどのように過ごすのかを考えたいものです。

九月十二日、千代田区の子どもたちは各人各様な過ごし方をしました。実態調査の結果を見ると、家族と団らん・旅行を楽しんだ幼児、友達と思いっきり運動したり地域の行事に参加したりした児童、金曜日に一杯勉強して土曜日の午前中はゆっくり休養した生徒など様々です。

今後、多様な活動の体験を通して、子ども自身が自分に適した過ごし方を主体的に決めていけるようにしたいものです。

休業土曜日の実態調査結果

◎9月12日は、どこで、どんなことをして過ごしたか。(複数回答、表中の数字はパーセント)

どこで・どんなことを	小学校2年	小学校4年	小学校6年	中学校2年
自宅	家の手伝い 11%	7%	9%	18%
	勉強 18	14	31	26
	読書、TV、趣味 23	23	31	37
	休養 10	15	32	23
外出	その他 9	8	5	9
	旅行 8	9	4	9
	近くの公園で 14	12	5	10
	学校で 3	9	4	3
	友達の家へ 10	9	6	4
	地域の行事に 4	4	1	2
	図書館等の施設 7	8	5	7
	買い物 11	10	9	25
	塾 2	4	12	12
その他	20	19	19	7

調査人数 (623人) (595人) (620人) (423人)

※子ども1人が2つ以上回答していますので、合計は100%になりません。

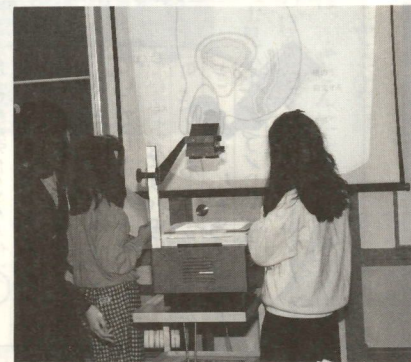
科学技術の急速な進歩によつて、私達の生活は物心両面とも多様化しました。しかも、世界のあらゆる情報が新聞・テレビ等を通じて短時間のうちに手元に届きます。また、情報の処理・活用にはコンピュータが導入され、事業所はもちろん、家庭内においてもごく身近なものとなりました。

この情報化時代に生きる人間にとつては、あふれる情報の中から必要なものを選択し、活用する能力が求められています。特に、コンピュータ等の上手な利用は欠くことができません。

小学校の学習では

本年度から実施された学習指導要領による教育では、直接経験を重視して学習を進めています。社会科や理科において、子どもたちが直接手に触れることのできない事象については、図書、テレビや映画、写真、スライド・OHP、コンピュータなどを使い、間接情報を取り入れて自分の考えをまとめています。また、高学年の算数科では、計算の負担を軽くし、じっくり考える時間を確保するため、時には電卓も利用します。更に、児童の個々の学習の進度や内容に応ずるために、コンピュータ

を活用しています。



▲選んだ資料をOHPで映して考える(小学校)

中学校の学習では

小学校と同様、様々な映像機器を活用して学習を進めています。今



▲まず先生方が新機種に精通する(中学校)

総合文化施設等の具体化を検討

公共施設適正配置構想の一環として計画されている「神田小川町三丁目複合施設」は、生涯学習センター、芸術文化ホール、歴史民俗資料館、図書館(本館)の四つの機能を持つ「総合文化施設」と、住民票の発行などの行政事務を行う「地域事務所」から成り立っています。

この施設の建設にあたっては、二つの組織を作り、七月下旬から検討を行っています。

「総合文化施設検討委員会」は、東京デイズニールランドの総合プロデューサーとして著名な堀貞一郎氏を座長に、指揮者、大学教授など八名で構成され、特色ある文化施設を目指して活発な議論が行われています。

「総合文化施設検討協議会」では、互選により木元尚男氏を会長に選出しました。応募いただいた七名の区民の皆さん、各種団体の代表や地元関係者など二〇名の委員から、区民や利用者が愛着を持てる施設とするため、様々な要望が出されています。今後もこの二つの会を両輪にしながら、区民や利用者の皆さんの声を反映した、よりよい施設づくりを進めていきます。

箱根高原学校の生活



▲学習室・食堂以外はすべて和室の宿舎



▲第1日 富士5合目お庭めぐり



▲2泊3日生活を共にした友達とお別れ

配膳・片付けは自分達で

箱根高原学校は、仙石原の姥子温泉寄りにあり、五年生の夏季施設、六年生の移動教室として利用されています。五年生は登山を中心として健康づくりと自然観察を行い、六年生は箱根の歴史、土地のつくりと変化などを学習します。今回は、五年生の「箱根高原学校」での生活を写真で紹介しします。



▲第2日 金時山登山



一緒に行った箱根林間学校

五年 大野 聖子

私達は佐久間小学校と一緒に箱根高原学校へ行きました。一日目の夜に佐久間小との交流会がありました。一番楽しくできたのは、もうじゅうゲームでした。何人かの仲間を組む時に、私は佐久間小の女の子達と一緒に組んで組ができました。そしてライディーンという踊りでは、最初に今川小が見本を見せました。だんだんと踊っていくうちに、佐久間小の男の子達が覚え、後になって女の子達も一緒に踊るようになりました。

みんなで楽しい交流会ができました。

二日目は金時山登山です。佐久間小も今川小も金時山だけでなく丸岳も登ることや、他の学校よりも長く歩くことを聞いて不安でした。ふだんはほろろされた道を歩いているのに、じやり道や土道だったので歩きづらかったです。さらに階段になった道やロープを使わなくては登れない岩場があり、本当に大変でした。

でも金時山、丸岳の頂上に着いた時の、「やったー!」という気持ちと涼しい風との出会い、忘れられない登山でした。

(今川小学校)

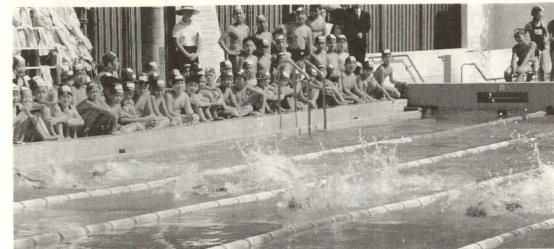
練習の成果を競う

区立小・中学校水泳記録会

千代田区立小・中学校水泳記録会は、第一学期が始まったばかりの九月八、九日に開催されました。今年の夏は晴天の日が続いた上、水不足の心配もなく練習が十分に出来たためか、大会新記録も生まれました。

小学校は九月九日、九段小学校・佐久間小学校・総合体育館の三会場で開催されました。今年は第三十回という記念すべき大会です。その成果が記録にも出ていますが、児童全員の泳力の向上にも表れています。

中学校は九月八日に一橋中学校のプールで開催されました。男子の力強さが目立った大会でした。



平成4年度区立小・中学校水泳記録会 大会新記録

種目	氏名	学校名	記録
小5年男子50M自由形	石井 悠久	富士見	31秒8
小5年男子50M平泳ぎ	中村 裕満	佐久間	44秒9
小5年男子50M平泳ぎ	矢次 修	九 段	46秒4
中2年女子50M自由形	大日向陽子	練 成	28秒80
中3年男子100M自由形	鯨島 拓郎	一 橋	55秒76
中3年男子200M自由形	坂井 俊太	一 橋	2分06秒05

ルの設置が予定されていますが、それが実現すると児童・生徒の体力の一層の向上に役立つことでしょう。



▲学校対抗のリレー(中学校)

力いっぱい

納涼相撲大会

夏休みの終わりに、芳林公園で区主催、千代田区相撲連盟主管の納涼相撲大会が開かれ、幼児から小学生まで、力いっぱい頑張りました。



▲優勝者にはメダルが授与されました

教育委員の再任

小林泰而教育委員と、井澤一弘教育委員(教育長)は、任期が満了しましたが、区議会の同意を得て、再任されました。

教育委員

小林 泰而



任期 平成4年9月30日
平成8年9月29日

教育委員(教育長)

井澤 一弘



任期 平成4年10月5日
平成8年10月4日

軽井沢少年自然の家

愛称応募のお礼

「軽井沢少年自然の家」第二期整備事業による新しい施設の愛称を募集しましたところ、九月五日までに三六〇をこえる応募がありました。現在整理集計が進められています。十月下旬には発表できる予定です。ご応募ありがとうございました。

地域に多様な情報を提供

千代田区立四番町図書館

四番町図書館は、地域の皆さんに

より多くの的確な情報を提供することを目的とする図書館です。

この図書館の運営にあたっては、次のような工夫をしています。

☆ 貸し出しを中心としています

一人が図書・雑誌を3点、CD・カセットテープなどを3点、合計6点まで、2週間の範囲で借りることが出来ます。

そのために、すべてのものを手に取って選べるように、棚の配置やスペースに気を配っています。

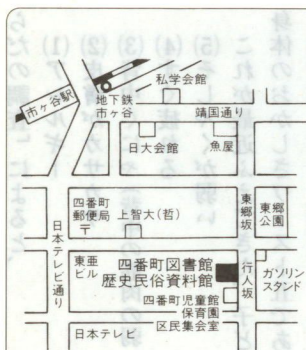
☆ 参考調査室があります

統計年鑑や百科辞典などを使って調査をするための席が用意された部屋です。

また、この参考調査室を利用して日曜映画会(年4回)、夏休み映画会(夏季、毎週)を行っています。

☆ 児童コーナーを設けています

絵本を含めて約一万三千冊の児童図書が内容別に分類されています。また、紙芝居も約三百五十点あります。



所在地 千代田区四番町1
電話 (3239) 6357
開館時間 火・金曜日
午前9時～午後7時
土・日・月曜日
(休館日を除く)
午前9時～午後5時
月曜日(第二日曜日の翌日を除く)
休館日 第二日曜日 祝日
年末年始
毎月末の館内整理日

区立幼稚園 園児の募集

千代田区では、平成5年度の区立幼稚園の園児を募集いたします。

〔幼稚園の一般保育〕

1、応募資格

区内に居住する者

2、対象となる年齢

・三歳児 平成元年四月二日

・四歳児 昭和六三年四月二日

・五歳児 昭和六二年四月二日

・昭和六三年四月一日生

〔幼稚園の長時間保育〕

1、応募資格

和泉橋出張所管内に居住し、保護者が働いているなどの理由で、長時間の保育が必要と認められる者

2、対象となる年齢

一般保育に準ずる

◎入園申込み

十二月中旬の予定

◎問合せ 学務課学務係

電話 (3264) 0151

内313112

お正月を志賀高原で!

スキー講習会のご案内

と き 平成5年1月2日(土)～6日(水) 4泊5日〔うち車中1泊〕
と こ ろ 志賀高原 熊の湯スキー場
募集定員 一般の部(中学生以上) 70名〔区内の中学生、および区内在住・在勤者〕
小学生の部(3～6年生) 30名〔区内の小学生〕
参加費 43,000円(往復のバス代、宿泊費、保険料を含む)
申込み 往復はがきに「熊の湯スキー講習会希望」と明記。住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記入。10月14日(水)必着。〔はがき1通につき5名まで可〕
申込・問合せ先 スポーツ振興課事業係(内神田2-1-8 総合体育館内) ☎03(3256)8444



随想

きょういく

○四・二・一症候群

私はよく中国へ出かけ史蹟や遺跡（石窟等）巡りの傍ら幼稚園や小学校を訪問する。

すると必ずこの四・二・一症候群のことが話題になる。それは、今中国では人口抑制のため一人っ子政策をとっていて、一人の子に二人の両親そして四人の祖父母に囲まれて、王子様、お姫様のように育てられている。そのため、わがままで、自己中心的で年寄りを敬わない、もやしっ子を四・二・一症候群というのだそうである。しかし、お隣の国のことだと思っていていいのだろうかと考えさせられる今日である。

○日本の今の幼児達は

千代田区の公立幼稚園に通う子ども達も、ほとんど何等かの習いごとをしている。体操教室や水泳教室を筆頭に二十数種に及ぶさまざまなことを習っているとのこと。

これがやがて小・中学校へと進むと塾通いにつながるのかと思うと、ぞっとする。

中国まではいかないが、日本の出生率は、ますます低下の一途をたど

っている。

要するに子どもを取り巻く環境が「縮小化され希薄化されつつある」ということである。

社会の中でもまれることや人間関係の希薄化により、子どもが、様々な人間関係の中で多様な価値観の存

幼児教育に思う

前 西神田小学校校長
同 幼稚園長
佐 藤 弘



在や忍耐力を学ぶ機会が減少し、創造性や活力を失うとともに、社会性に欠け、人の心の痛みを感じることまで失うなど、子どもの健全な成長に大きな影響をもたらすおそれさえある。

日体大の正木教授の「子どものか

らだの調査」によると、

- (1) アレルギー
- (2) 皮膚がカサカサ
- (3) 背中ぐにや（背中の筋肉の弱い子）
- (4) すぐ疲れる
- (5) そしゃくが弱い

これが最近ふえてきた、子どもの身体のおかしきワースト五である。

幼稚園に来て、朝からジーンツとしていたので、話を聞くと、「動くと疲れて午後の〇〇教室にいけなくなる」と答えた子どももいるという。

○力を合わせて子育てを

千代田区は区当局の大英断によって早くから全国に先がけて、全幼稚園が三年保育を実施している恵まれた環境にある。それとともに優秀な先生方が大勢いて、いろいろ研究しながら保育にあたっている。園と緊密な連携をとり合って健やかな成長を願って、幼稚園と家庭・地域が一体となって健全な子育てに力を合わせて努力されることを念じてやまない。

さとう ひろし

千代田区立教育研究所
教育研究専門員

随想

編集後記

例年よりもずっと長い残暑から、ようやく解放されたと思ったのもつかの間、もう北国の山々に初冠雪という便りが届きました。世の中の動きの速さに合わせるように、季節も移り変わっていきます。

第五号に続き、本号でも学校週五日制を取り上げました。大袈裟に言えば、明治以来の教育の大改革と言えるからです。子どもの生活、教育全体を見直す大切な機会です。

四月ある第二学期は、子どもの心身の成長にも著しいものがあります。日々の変化をしっかりとらえ、認め励ましていきましょう。

自然の移り変わりの美しさも見落とさず、親子で楽しみたいものです。「かけはし」についての皆様のご意見・ご感想・ご要望をぜひお寄せ下さい。お待ちしております。

教育広報「かけはし」第八号

平成4年10月9日発行

編集発行／千代田区教育委員会

〒102 千代田区九段南1-6-11

☎(03)664-0151内3114